

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者のアセスメントで、その思いの捉え方が不十分である。	利用者の思いを受け止めて、日々の介護に反映させる。	アセスメント方法の見直しを図り、センター方式等の活用により利用者の思いを掘り下げて捉える。	6ヶ月
2	2	地域との結びつきで、施設としての関係ばかりでなく、利用者個人としても結びつきが欲しい。	利用者が地域といかに関わられるかを検証し、利用者が個として生活できるようにする。	利用者各人の思いをもう一度確認し、地域との関わりが少しでも増えるように実践していく。	6ヶ月
3	1	法人や施設の理念をさらに浸透させるための工夫が必要である。	理念を踏まえて、さらに深めた援助が出来る。	職場内研修及びケース検討会を充実させ、その中で理念を浸透するようにする。⇒気付きの場面を多く設定するようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。